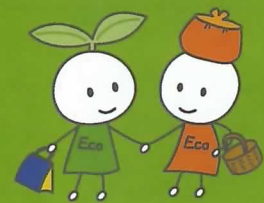


川崎市地球温暖化防止活動推進センターだより



エコちゃんず通信 No. 25

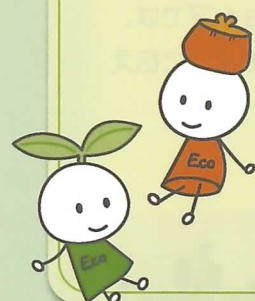
2016. 4. 20 発行

エコちゃんず通信は、CC かわさき交流コーナーにある川崎市地球温暖化防止活動推進センターのニュースレターで年4回発行します

「おもちゃ病院」 受け付け開始

壊れたおもちゃを直すのが「おもちゃ病院」。全国各地でおもちゃの修理を通じて、子どもたちに「物を大切に作る心」や「人とのふれあい」などを伝える活動をしています。

この度、NPO法人日本おもちゃ病院様と連携して、当センターで窓口受付を始めました。修理できない「おもちゃ」もありますので、詳しくはホームページを見てネッ。



高津区市民館市民自主学級 「買い物と食から始める温暖化防止」開催



ランチもエコクッキング



澁谷農園で収穫体験

子育て中のお母さんたちの企画で、1月から3月の5回連続講座が開かれ、グリーンコンシューマーグループが講師を務めました。温暖化と日常生活のつながりはたくさんあります。地元農家での野菜収穫、地元野菜を使ってクッキング、マイバッグづくり等楽しい体験を通して学びました。家庭で取り組む「STOP地球温暖化」を具体的に学ぶことが出来た、子どもがおいしいと食べた地元野菜をもっと使いたい、保育付もうれしいと好評でした。今年度も6、7月に地域での楽しい取り組みの講座(全5回)を開催予定です。この講座から育った繋がりへの更なる飛躍が期待されます。

こどもエコちゃんずクラブ



2016年度スタート!!

月に1回、自然体験やエコ講座などで楽しく学ぶ『こどもエコちゃんずクラブ』、第1回は4月3日(日)、JAXAコズミックカレッジの藤島徹さんによる「宇宙衛星から見た地球環境」でした。

まず、1年間の予定の話、スタッフ紹介、参加した子どもたちからの自己紹介。次に、光の三原色、衛星のセンサーの話。その後、実際に衛星からの「本物」のデータをパソコンで表示していきます。「一番熱いところはどこ？」など、ゲーム形式で楽しみました。

今年は田植え・稲刈り体験、宿泊体験なども予定していて、参加する20名の子どもたちにとっても、主催の川崎市地球温暖化防止活動推進員からなる「環境教育・学習開発実践プロジェクト」にとっても楽しい1年になりそうです。

川崎市地球温暖化防止活動推進員研修会

1月16日(土)に川崎市地球温暖化防止活動推進員研修会を開催しました。今回は「推進員活動における家庭部門の地球温暖化対策」をテーマにワークショップを行い、36名の推進員の方に参加いただきました。新しい視点での企画提案がたくさんあり、推進員間の交流にもつながりました。



☆川崎市では川崎市地球温暖化防止活動推進員の募集を随時行っています。

HP: <http://www.city.kawasaki.jp/300/page/000061304.html>

編集後記

当センターでは温暖化に関連するテーマについての月替わりの展示や常設の展示を行っています。4月から新しい展示方法に取り組んでいます。

ぜひ、お立ち寄りください。



※川崎市地球温暖化防止活動推進センターは、川崎市から指定を受けた認定NPO法人アクト川崎が運営しています。

【開館日】火曜日～日曜日 午前9時30分～午後5時30分 【閉館日】月曜日ただし第3月曜日が祝日の場合は、翌日も閉館

2016年3月春休みエコ体験教室

3月26日・27日の春休みエコ体験教室では、6つの講座を開催しました。小学低学年向けに2講座、高学年向けに1講座、親子向けに2講座と、今回初となる大人向け講座でした。たくさんの小学生から応募をいただき抽選となりましたが、参加した小学生たちは、ほとんど全員が大満足。特に工作に取り組む姿はとても活き活きとしていました。今回もう一つの初の試みは、最初にIPCCレポートコミュニケーターによる温暖化問題の紹介があったことです。子ども達にはちょっと難しい場面もありましたが、しっかりと聞いてくれたのが印象的でした。

小学校低学年向け

スーパーボールロケットと紙飛行機を作って飛ばそう!

講師:ひととゆめのネットワーク



小学校低学年向け

プラスチックカップでキーホルダーを作ろう!

講師:(一社)プラスチック循環利用協会



自分だけの竹細工・おもちゃを作ろう!

講師:日向山うるわし会



小学校高学年向け

手作りミニ顕微鏡で細胞を見てみよう!

講師:当センター



大人向け

森とガーデンのクラフト

講師:子どもの自然クラフトアイデア作家 岩藤しおいさん



IPCCレポートコミュニケーター



IPCCレポートコミュニケーターが温暖化問題を紹介

2016年

1月の テーマ展示

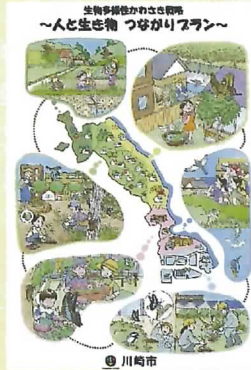
みどり

◆身近なCO₂排出量と森林のCO₂吸収量 (林野庁広報資料)



森林は光合成によって二酸化炭素を吸収する働きがあるので、地球温暖化対策として重要な役割をもっています。また、森林は生物多様性の宝庫でもあります。そこで、みどりと地球温暖化、生物多様性の関係に焦点をあてた展示を行いました。川崎市内の街路樹の地図の展示はみなさんの関心を集めました。温暖化を意識した行動変容を促すための「食・ガーデニングを通じて気候変動を伝える〜どこでもフリップ活用ガイド」も紹介しました。

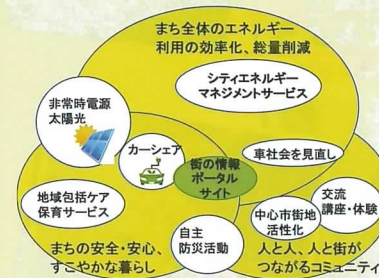
1月19日(火)には講座「かわさきの生物多様性戦略について」を開催し、川崎市環境局環境調整課の浅岡係長からお話をいただきました。



川崎市の生物多様性戦略を説明する環境調整課 浅岡さん

2月の テーマ展示

低炭素のまちづくり



自治体などが都市計画を考える際には、エネルギーの効率的な利用、再生可能エネルギーの導入、車を減らすしくみなど、

使うことも重要ですが、人がつながるコミュニティという面、大震災被災地に作られたスマート防災エコタウンの取り組みに見られるように、まちの安全・安心も重視されます。

2月17日の講座は武蔵小杉のスマートシティの取り組みと、主に欧州の交通政策を紹介しました。車より公共交通を優先するために、路面電車やパーク&ライド、カーフリーデーなどがありますが、驚きだったのは、ロンドンには、車で市内中心部に入る際に支払う「渋滞税」というものがあることでした！

CO₂削減のしくみを盛り込むことが大切です。展示では、そのような「スマートシティ」の考え方や、様々な事例を紹介しました。

スマートシティというのはエネルギーを効率的に



欧州の交通政策について語る望月真一さん

3月の テーマ展示・講座

「CSR」Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任

川崎市はスマートライフスタイル大賞として市民、事業者の先進的なエコな取組を表彰しています。3月の展示では第4回スマートライフスタイル大賞の受賞5団体の活動実績をパネルで紹介しました。

3月26日には、「CSRの観点での市民との環境コミュニケーション」第一弾の講座を開催し、30名が参加しました。味の素株会社の高橋さん、寛さんから、同社が開発した「飼料用アミノ酸リジンが家

畜の成長や飼料の利用効率を高めるだけでなく、家畜排せつ物に由来する亜酸化窒素（地球温暖化係数がCO₂の300倍）の量を約3割削減することができるので、地球温暖化防止にも役立つ」と、情報提供されました。講座の後半のワークショップでは、こうした価値ある情報を一般市民にどのように伝えるかについて活発に話し合われました。



CSR・飼料用アミノ酸について熱心な説明をする高橋さんと寛さん



ワークショップ

講演会

「私たちの暮らしはすべて世界につながっている ～商品の一生を知ろう～」講演会

グリーンコンシューマーグループかわさき主催 2月6日(土)

講師は消費生活アドバイザーの辰巳菊子さん。コーヒーやバナナを例に買い物と環境について、フェアトレードコーヒーを飲みながらお話を伺いました。参加者の感想の一部を紹介します。

- ◆環境ラベルの大切さを知りました
- ◆「環境に負荷をかけている事を知ろう」「資源は有源」の言葉が強く残りました。使い捨てが当たり前の生活を送っていたので、環境、商品の一生等を考えさせられてとても良かったです。
- ◆賢い消費者が時代を変えることが大切なのだと思いました。
- ◆生きるの選択の積み重ね(罪重ね?)は大変意味ある言葉。

「グリーン水素社会と川崎市の取り組み」講演会

省エネグループ主催 3月6日(日)



水素エネルギーの分野では第一人者の横浜国立大学院名誉教授の太田健一郎先生を講師に招いた講演会を開催しました。参加者50名を前に、水素エネルギー社会の実現には、自然の再生エネルギーで安価に製造した水素(グリーン水素)を確保する必要があり、それにはパタゴニア(アルゼンチン)の風力発電を活用すべき、という持論を現地の開発プロジェクトのデータのもとに力説されました。

